

避難地域復興・産業振興対策特別委員会

会議記録（第 1 1 号）

令和 7 年 9 月 3 0 日

福 島 県 議 会

1 日時

令和7年9月30日（火曜日）

午前 10時30分 開会

午前 10時45分 閉会

2 場所

第一特別委員会室

3 会議に付した事件

- (1) 調査終結について
- (2) 調査報告書について
- (3) 知事申入れについて
- (4) その他

4 出席委員

委員長	長尾 トモ子	副委員長	佐々木 恵 寿
委員	太田 光 秋	委員	亀岡 義 尚
委員	宮本 しづえ	委員	伊藤 達 也
委員	佐藤 郁 雄	委員	山口 信 雄
委員	渡辺 康 平	委員	安田 成 一
委員	半沢 雄 助	委員	誉田 憲 孝

5 事務局職員

政務調査課	主任	主査	渡部 幹 雄
政務調査課	主	査	鈴木 寿 実

6 執行部出席者

企画調整部長 五月女 有良
福島イノベーション・コースト構想推進監

兼政策監

佐藤 安彦

企画調整課長

渡辺 浩史

7 議事の経過概要

(午前 10時30分 開会)

長尾トモ子委員長

出席委員が定足数に達しているので、ただいまから避難地域復興・産業振興対策特別委員会を開会する。

初めに、会議録署名委員の選任について諮る。

会議録署名委員は、委員長指名で異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、太田光秋委員、亀岡義尚委員を指名する。

次に、本日の会議運営について諮る。

本日は、まず初めに、本委員会の調査終結について諮り、次に、調査報告書の取りまとめを行った後、知事に対する申入れについてお知らせする順序で進めたいが、いかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように進める。

なお、本日の会議には、企画調整部長及び関係職員の出席を求めているるので、了承願う。

それでは、本日の議事に入る。

はじめに、本委員会の終結について諮る。

本委員会の調査については、今定例会をもって終結することを目途に、鋭意、調査を行ってきた。付議事件の調査については、概ね、その目的を果たしたものと思われる。したがって、本委員会の調査は今定例会をもって終結したいがいかがか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

次に、調査報告書について諮る。

委員会における調査が終結した場合、会議規則第76条の規定に基づき、委員会報告書を議長に提出することとなっている。

ついては、この調査報告書（案）をもって委員会の調査報告書としたいがいかがか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

長尾トモ子委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

なお、会議規則第40条第1項により、委員長が調査の経過及び結果を本会議場で報告するが、その案文については、正・副委員長に一任願う。

次に、知事に対する申入れについてである。

申入れの詳細については、前回の委員会において、正副委員長に一任いただいたところであるが、10月2日、今定例会最終日の本会議終了後、正副委員長及び理事により行うので了承願う。

なお、知事申入れに先立ち、本日の委員会終了後、正・福委員長及び理事により、議長に対し、調査結果報告を行うので併せて了承願う。

以上で本日の日程を終了したいが、本委員会の調査終結に当たり一言御挨拶申し上げます。

本委員会は、「避難地域復興・産業振興対策」及びこれに関連する事項について調査するために令和5年12月26日に設置され、本日まで調査活動を行ってきたところである。

何分、限られた期間における調査であり、付議事件のすべての問題について、議論を尽くすことは困難であったが、この間、委員の皆様におかれては、格別の御精励を賜り、実りある調査活動が行えたことを心より感謝申し上げます。

本委員会では、本県が、最優先課題の一つとして取り組むべき「避難地域の復興・創生」、「産業の振興」及び「これらに関連する事項」について、施策の強化に取り組むため、広範に提言等をまとめることができた。

東日本大震災・原子力災害により14年以上が経過し、F-REIを中心とした福島イノベーション・コースト構想の進展により、新規産業も生まれてきているなど着実に復興は進んでいる。

避難地域には、ドローンや水素エネルギーなどのスタートアップ企業の立地など、

今後の発展が期待される企業が存在しており、F－R E Iの研究活動が本格化すれば、周辺地域への研究者や関係者の居住や交流の活発化により、人々の生活を支える機能も充実し、若者にとっても魅力ある地域となっていくと考えられる。

それらの状況の変化にも対応した産業の振興施策により、豊かな社会と住みやすい、人々に選ばれる福島県の創出を目指していかなければならない。

本委員会における調査は、今定例会をもって終結するが、今回の調査報告書で取り上げた提言等が実現され、避難地域を復興し、また、産業の振興が図られるよう、委員の皆様には、なお、一層の御尽力を御願います。

終わりに、本委員会の調査活動に特段の御協力をいただいた企画調整部、その他関係部局の皆様に対し、心から御礼を申し上げ、委員会終結に当たっての挨拶とさせていただきます。

以上をもって、避難地域復興・産業振興対策特別委員会の調査を終結する。

(午前10時45分 閉会)